



樹妙だより

No.197 2022/8.9



月影祭（2022年6月4日～5日）

慈悲喜捨

8月7日頃からの15日間を「立秋」と言い、夏から秋へ季節が移り変わり始める日という意味があります。朝夕が涼しくなって秋の気配が立つ日とされ、暦の上では秋になります。

立秋と言っても、日中は暑さが厳しく、気温も高いので秋を実感しにくいのですが、空を見ると、なんとなく高く感じられ、いわし雲やうろこ雲など、水平に広がる秋の雲が見られるようになります。夏の雲は、入道雲のように垂直に発達しますが、立秋の頃は、夏と秋、両方の雲を見ることができます。そして、夏の風と秋の涼やかな風が混在し始めて、季節の移り変わりを感じるようになるのです。

また、立秋を過ぎても居残る厳しい残暑。この残暑の季節にあたる8月23日頃を処暑と言います。「処」は「とどまる」という意味があるので、「暑さがとどまる」という意味になります。処暑は、農業などの暦として今でも使われていて、暑さが和らぎ、穀物が実り始める頃をさします。しかし、この頃は暑い季節の疲れが出て、

夏バテや食中毒にかかりやすい時期になるので、食べ物にも気を配る必要があります。

暑い時は、さっぱりした物や、冷たい物がほしくなりますが、処暑の頃は体力が低下してエネルギーが不足気味になります。日本では、昔からこの時期に旬を迎える「さんま」を食べてビタミンを補給し、大根おろしを食べて弱った胃や体を元に戻していたということです。そして、新米が出回る時期なので、あたたかなご飯とさんま、大根おろしをいただいて、元気を取り戻していたでしょう。つくづく、和食は人と季節に適した食事だと思います。

暑さが続く時は、早く夏が終わればいいと思いますが、暑さが弱まってくると何となく寂しさを感じるようになります。これは、夏から秋へと季節の変化を感じる日本の情緒であると思います。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言います。先人の教えに倣い、今年の夏も元気に過ごしましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

今年は6月の終わりから、真夏がやってきたようで、まず伊勢崎市が全国で第一位の気温になりました。その一週間後、樹徳が所在します桐生市が気温40.4℃、日本一になってしまいました。コロナ禍ではありましたが、各学校が最優先注意事項としてあげましたが、熱中症がありました。外での授業はもちろんですが、教室で行われる授業についても、教師陣は細心の注意を払いました。こまめな水分補給、空調による温度管理と教室内の換気、体調不良生徒へのチェック。また部活動での配慮も行いました。おかげさまで事なきを得て、夏期休業に入ることができました。

生徒も職員も体調管理を専一にして、この暑い夏を乗り切りたいと存じます。

皆様頑張ってくださいませ。

先日窓を開けようとしたら、目の前にハエがおりました。

女子生徒や若い女性でもいれは「虫、虫、虫」と大騒ぎになるでありますが、昭和20年代に田舎で生まれた私は、普通の虫では驚かないのであります。

そのハエが羽を鳴らしながら暴れておりましたので、外へ逃がしてあげようと思い、傷つけないように手で外へ追い払うのですが、かえって戻って来てしまうのです。「馬鹿だなー」と思いながら外へ出すことを諦めました。このようなこと経験したことありませんか。

この最中に私が昔よく使った川柳を思い出しました。

「出る穴が あるのに障子の トンボかな」

ハエの話と似ておりますが、障子の右サイドには20cm位の隙間があって、トンボは無理をせず外へ飛び出していけるのにもかかわらず、障子の中央でそこに何度も体当たりして、羽をバタバタさせておおきな音を立っている。

端で見ていると真剣そのもの、外へ出たてしょうがない様子、でも外へ出られない。

少し遠くに離れてみれば障子が開いているのに気がつけるはずなのに。

見ている私は気が気ではなく、側に行って障子を更に大きく開けてあげたりする。

そのうち時間がなくなり、その場を去ってし

まう。次の日そこを通ると、トンボの亡骸が落ちている。

「馬鹿な奴だな昨日助けてあげたのに」と私はつぶやく。

私の豊かな想像力があらぬ方向に展開してしまい失礼いたしました。

トンボの目は複眼といって、小さな目が1万個ぐらい集まっているので、180度見ることができる。首を振るだけで360度見えるとも言われております。

そうすると私達人間より、よく見える目を持っていることになります。

不思議なことですが、それでも横の障子の隙間が見えないのです。

私はハエに対して「馬鹿なやつだ」と思いましたが、よくよく考えてみると、人間にもこんなことってあるように思えます。

冷静に判断すれば十分に理解できることなのに、近視眼（目の前のことだけとらわれてしまう）になってしまい本当に苦しむ。

振り返ってみると、私もこんな経験を何度かしたような気がいたします。

私の造語ですが「近視眼的蟻地獄」に私達人間も時たまはまって苦しんでしまう。

どうあがいても
だめなときがある
手をあわせるしか
方法がないときがある
本当の目が開くのは
そのときである

これは書家である相田みつをさんの言葉ですが、もしかするとこの時が一番成長できる時なのかもしれません。大変な時、諦めない勇気を！

合掌



一貫校中学校だより 生きる力

生命保険会社が毎年行っている「将来なりたい職業ベスト10」の2022年度調査結果が発表されました。小学生男子では従来の人気職業であるスポーツ選手に加え、YouTuberやゲームクリエイターが上位に入り、女子ではお菓子屋さんがパティシエに変わるなど、時代の影響が色濃く反映されていると感じました。男女とも、まんが家やイラストレーターも人気があります。クリエイティブでカッコ良い響きの職業に憧れるのかもしれませんが。中学生、高校生と年齢が上がるにつれて、男女とも人気職業がより具体的に、そして現実的になります。例えば、男女ともに上位には公務員が入り、仕事内容と同時に社会的安定を求める傾向になります。近年、中高生男子で顕著なのは、システムエンジニアやプログラマー、設計士、工業デザイナーなど、今後のAI時代を見据えた職種が選ばれていることです。一方、女子では、看護師や医師、薬剤師、管理栄養士といった医療系の職業や教師が上位に来るのが最近の傾向です。女子の場合は、「人の役に立ちたい、誰かを助けたい」という意識が高く、それが将来の夢や職業選択に関係しているようです。生徒の皆さんも社会状況を着実に見つめながら、自分が将来社会の中でどのように生きていくのかを真剣に考えているのだなと嬉しくなります。

現在、学校での「キャリア教育」への取り組みが大きく推進しました。その背景には、情報技術革新、社会経済や産業のグローバル化があります。社会環境の変化に加え、産業の構造的変化や雇用の多様化・流動化が皆さんの将来にも大きな影響を及ぼしていることは間違いありません。絶え間なく変化する社会の中で、皆さんが希望をもって将来について考え、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、基本となる学力は勿論ですが、変化に対応していく力や自ら課題に取り組む意欲を持つことが何より大切だと考えます。大学や就職がゴールなのではありません。社会人としてその先長く

続く人生をどう主体的に生きていくのか、すなわち「生きる力」、「人間力」を身につけることが、今いちばん求められていることだと思います。

もう15年近く前のことになりますが、「生きる力」というと、当時担任していた男子生徒のことを思い出します。理学療法士になるのが夢で、着実に努力を重ねた結果、3年の2学期には第一志望の推薦入試に合格を果たしました。その彼が、冬休み明けに深刻な表情で私のもとにやって来たのです。父親の仕事がだめになり、今は生活するのがやっとで、大学の入学金すら支払うことが出来ない、弟もいるので自分は進学を諦めてすぐに就職したい、とのことでした。いろいろ手段を尽くしましたが彼の決心は固く、他の先生の紹介で何とか2月に就職を決めることが出来ました。卒業してからも幾度と学校に来て報告をしてくれていましたが、何と半年後には社長からその力量を買われ、1店舗任されることになり、19歳にして店長となりました。その後、ひたむきに働き続けた結果、本社に抜擢された（本来、大卒だけが行ける部署です）、という知らせを風の便りで聞きました。高校3年の冬に一度は消えた将来の夢でしたが、別の形で見事に叶えたことが本当に嬉しく、彼の「人間力」とそれを認めてくれた会社に感激しました。

皆さんにも夢や目標があると思います。それらは頑張る原動力となります。叶えるためにはどうしたらよいのか、努力の方法を教えるのが私たち大人の役割だと考えます。すぐには結果が出なくとも、努力したことは必ず糧になっています。と同時に、様々な学習や経験ができるこの時期にこそ、困難を自分の力で乗り越えていける強さや柔軟性を身につけてほしいのです。何になりたいかという目標をもつことは大切ですが、どう生きるのかという自分自身の羅針盤を持っていることはもっと大切なのではないのでしょうか。目標が変わってもぶれない自分自身の生き方、これこそが社会の中で生きて行くための本質だと考えます。

副校長 竹内 恵子

◆月影祭

6月4日（土）5日（日）”百花繚乱”をスローガンにかかげ月影祭が開催されました。

1年生は『樹徳不思議物語』、2年生は『英語劇』
3年生は『コロナにも負けない！世界旅行体験』
4年生は『ウクライナ人道支援～インターネットテレビ～』、5年生『推理 / 縁日』、6年生『一貫一景』の映像・展示企画がおこなわれ、生徒たちは楽しみながら見学していました。

また5日には卒業生の山極医師による記念講演がオンラインでおこなわれ、医系進学講座の生徒をはじめ真剣に耳を傾けている姿がみられました。



月影祭 PHOTO GALLERY



約4年ぶりの月影祭が、6月3日（金）に前夜祭が行われた後、4日（土）・5日（日）の2日間で開催されました。コロナ禍のため、外部からの来校者をご遠慮頂き、生徒と教員のみで各企画を楽しみました。その様子を写真でお届けします。雰囲気だけでもお楽しみください。



↑ 本校

一貫校 ↓



月影祭の様子をドローンで撮影したものをまとめた動画を制作しました。右のQRコードからご覧ください。



幼稚園だより

◆来年度、「こども家庭庁」の創設が決まる

現在は、保育所を厚生労働省、幼稚園を文部科学省、認定こども園を内閣府が管轄しています。ただし、認定こども園は、保育所と幼稚園の両方の機能を併せもつということで、厚生労働省も文部科学省も関わっています。このように、子どもに関わる政策が、複数の省庁にまたがって進められているということです。そのため、こうした縦割り行政では、政策づくりや問題解決等がスムーズに進められない、または一体感のある子ども・家庭支援等ができないという課題が近年挙げられていました。

そこで、子どもの保育、子育て支援、児童虐待、いじめ問題、子どもの貧困、少子化など、これまで複数の省庁が管轄していた子どもに関する政策を一元的に担う新しい組織をつくり、縦割り行政の解消を図ることを目的に、子ども家庭庁の設立が政府の中で議論されてきました。そして、第208回通常国会最終日、令和4年6月15日に「こども家庭庁設置法」が成立したのです。



園外保育「ぐんま昆虫の森」
いろいろな昆虫にびっくり！

今後、こども家庭庁は、内閣府の外局に設置され、こども家庭庁長官をトップに、組織が「企画立案・総合調整部門」「成育部門」「支援部門」の3部門体制に整備されていき、令和5年4月1日にスタートする計画です。

政府は子ども政策について、「子どもや若者の意見を聞き、子育て当事者の視点で政策を進め、子どもの権利を守る社会を目指していく。そして、『こどもまんなか社会』という看板を掲げて政策を転換する。」と説明しています。こうした理念をこども家庭庁に反映する方向ですが、どこまで具体的な施策に落とし込めるか、今後期待したいところです。

◆幼交連主催 交通安全教室を開催

幼交連とは、交通安全教育事業を推進している桐生市役所地域づくり課が管轄している「きりゅ



気温39.5℃の暑い中、
親子で頑張った「保育参観」

う幼児交通安全クラブ連絡協議会」の略称であり、市内の保育園や幼稚園、認定こども園が所属し、それぞれの園で交通安全活動に取り組み、情報交換等を行っている。

当園では、7月1日（金）に、市役所地域づくり課生活安全担当の交通ヘルパーさん4名を講師にお招きし、交通安全教室を開催しました。例年ですと、手作り紙芝居や劇、借用してきた横断歩道や簡易型信号機を使って、幼交連の役員さんが交通安全教室を進めるのですが、今年度は専門家

にお願いし、実施いたしました。交通安全教室の中では、交通安全ヘルパーさんによるパターンパネル（大型布紙芝居）を使っての交通ルールの学習、横断歩道や簡易型信号機を使って道路の渡り方の実技、交通ルールを学ぶアニメーションDVDの視聴を行いました。最後には、幼交連役員さんの手作りによるマスコット人形が園児全員に配られました。

6月末にも大間々のドラッグストアで、買い物を終えて店から出てきた人に自動車が入り込み、大けがをさせたという事故がありました。運転手によるブレーキとアクセルの踏み間違いが原因らしいのですが、このような事故が増えています。交通ルールを守っていても被害に遭うこともあるのです。道路を歩くときや信号・横断歩道を横断するときは、くれぐれも周りに気を付けながら行動してほしいと思います。樹徳幼稚園の子どもたちやご家族から、くれぐれも交通事故の被害者が出ないように願うばかりです。

園長 佐野悦生



交通ルールを学んだ「交通安全教室」

令和4年度入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

8月(正命)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	月	登校日① 校内安全点検 マイトリー抛金日 3年生第2回チェックテスト	登校日 マイトリー抛金日	預かり保育⑨ 安全点検日
2	火		SSL特別補習(～4日) 実力養成講座(～4日) 保護者面談期間(～23日)	預かり保育⑩ 新採用教員研修会①(中期Ⅲ)
3	水			預かり保育⑪ 新採用教員研修会②(中期Ⅲ)
4	木			預かり保育⑫ 教職員夏季研修会～19日(金)
5	金	授業料納入日		預かり保育⑬
6	土			開園日(預かり保育)
7	日		小学生夏休み宿題応援教室	
8	月			預かり保育⑭
9	火			預かり保育⑮
10	水			預かり保育⑯ 保育料納入日
11	木	山の日	山の日	山の日
12	金			預かり保育⑰
13	土	盂蘭盆会(～16日)	盂蘭盆会(～16日)	お盆休み
14	日			お盆休み
15	月			お盆休み
16	火			お盆休み
17	水	オープンスクール打合せ	中学部登校日 AED講習会(5年) 高等部補習(17、18、22、23、24日)	預かり保育⑱
18	木		中学部補習(～23日)	預かり保育⑲
19	金	登校日②	高等部登校日	預かり保育⑳
20	土	オープンスクール2	中学校模擬試験 高校補習(～24日)	開園日(預かり保育)
21	日	オープンスクール3 英語検定①二次(外部受験)		
22	月	振替休日(8/20)		預かり保育㉑
23	火	振替休日(8/21)		預かり保育㉒ 市私立保育園・認定こども園園長事務連絡会議
24	水			預かり保育㉓
25	木	1・2・3年河合塾全統記述模試 全国高P連大会(～26日)	高原学校(～26日)	預かり保育㉔
26	金	始業準備(職員朝礼) 奨学生審査会① ITS研修② 関東地区私学保護者連合会代表者会(横浜市)		2学期始業式 平常保育開始
27	土	GTEC②		開園日(預かり保育)
28	日	関東地区私学保護者連合会代表者会(横浜市)		
29	月	第二学期始業式 R5教育実習希望者面接	始業式 防災訓練	リズム(全)
30	火	夏休み課題確認テスト(Jコース)	課題確認テスト	読み聞かせ(西山先生)
31	水			英語・文字(年長)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

手芸等作品展

9月16日(金)～9月18日(日)

10:00～16:00

野村 恵子さん他

9月(正精進)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	木	校内安全点検		防災の日 避難訓練(地震) 安全点検日 教育実習①開始～9/30まで 体育・文字(年中)
2	金	募集要項説明(本校職員対象)		
3	土	3年生Vステップ		開園日(預かり保育)
4	日			
5	月	1・2・3年基礎力診断テスト(Jコース) 後期教育実習開始 授業料納入日 マイトリー基金拠金日 教育連携講座⑥		リズム(全)・線(年少)
6	火	県校長会		プール納め 読み聞かせ(西山先生)
7	水	生徒募集要項説明会(中学校教員対象)		英語・文字(年長)
8	木	生徒募集要項説明会(学習塾対象)	塾対象生徒募集要項説明会	英語(全)・文字(年長)
9	金	中高協会定例会(樹徳)	学力推移	お誕生会(8・9月生) 保育料納入日
10	土	オープンスクール4		開園日(預かり保育)
11	日			
12	月	3年生第3回チェックテスト 学年主任会⑤ 教育連携講座⑦		リズム(全)・線(年少)
13	火	日私中高連常任理事会/協会長・事務局長会議		
14	水	地区懇談会(桂萱・芳賀・南橋・鎌倉・群大附・富士見) 教育連携講座⑧ 3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試		お茶のお稽古(年長)③ 英語
15	木	マナーアップ運動② 中高協会教科研修会(育英) 地区懇談会(足利・佐野)		体育・文字(年中)
16	金	就職選考(入社試験)開始 地区懇談会(伊勢崎二・四・宮郷・境) 3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試(～17日)	中学校授業参観	文字(年長)
17	土			開園日(預かり保育)
18	日			
19	月	敬老の日		祝日(敬老の日)
20	火	地区懇談会(広沢・桜木) 教育連携講座⑧ 3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試		私立保育園・認定こども園園長事務連絡会議 読み聞かせ(西山先生)
21	水	教育連携講座⑨		英語・文字(年長)
22	木	制服アフターサービス		体育・文字(年中)
23	金	秋分の日		祝日(秋分の日)
24	土			開園日(預かり保育)
25	日			
26	月	朝礼 運営委員会③		教育実習②開始～10/14まで リズム(全)・線(年少)
27	火			ボール投げ教室(年中・年長)
28	水			療育支援観察訪問 英語・文字(年長)
29	木			体育・文字(年中)
30	金	出欠統計提出		



樹徳高等学校
 樹徳中学校
 樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
 TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
 TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
 TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく